

右折レーン延伸で直進車線への「はみ出し車両」が無くなり、安全性が向上!!

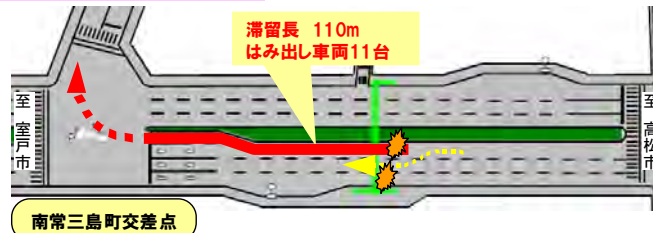
●徳島市中心部に位置する 国道11号南常三島町交差点では
右折車両の増加に伴い、追突事故・接触事故が多発。

- ✓追突・接触事故の防止を目的に中央分離帯の幅員縮小と右折車線の延伸を実施。
- ✓混雑時の直進車両の平均走行速度向上・渋滞緩和に成功。
- ✓直進車線での右折待ちはみ出し車両が排除され安全性が向上。



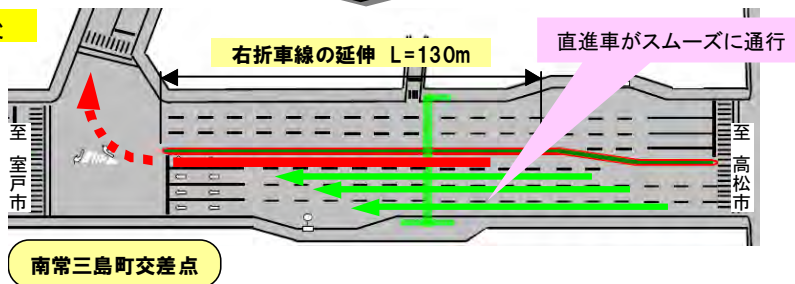
南常三島町交差点の整備方法

整備前



改良後 (右折車線延伸)

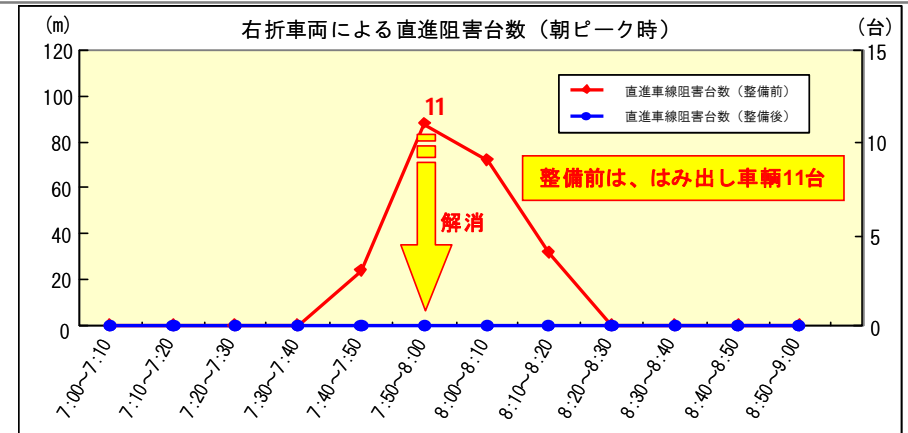
整備後



整備効果① “はみ出し車両”が解消され安全性が向上

<はみ出し車両の推移>

・整備前に最大11台あった“はみ出し車両”が解消され安全性が向上しました。



調査日：整備前 平成22年6月16日 (水) 天候晴れ 整備後 平成22年9月2日 (木) 天候晴れ

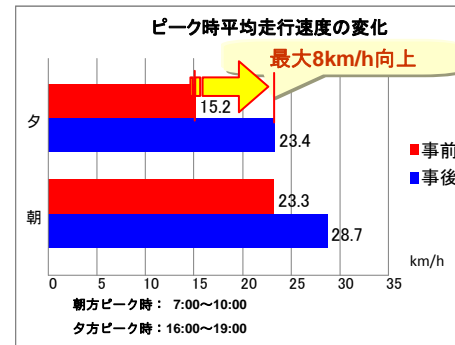
<事故発生状況>

- ・南常三島町交差点では、平成16年～平成20年の間15件の事故が発生。うち、右折レーンでの追突・接触事故が6件発生。
- ・整備後3ヶ月の右折レーンでの追突・接触事故は0件。(現時点は調査中)

整備効果② 混雑時の直進車両の平均走行速度が向上

<直進車旅行速度の変化>

・中常三島～南常三島町交差点間の平均走行速度の夕方ピーク時で、約8km/h向上し渋滞緩和にも効果を確認しました。



整備後(平成22年9月2日)